

7-18 淡路島富島地区及び芦屋市における地化学探査

Geochemical investigation in Toshima, Awaji-shima and Ashiya City

地 質 調 査 所
Geological Survey of Japan

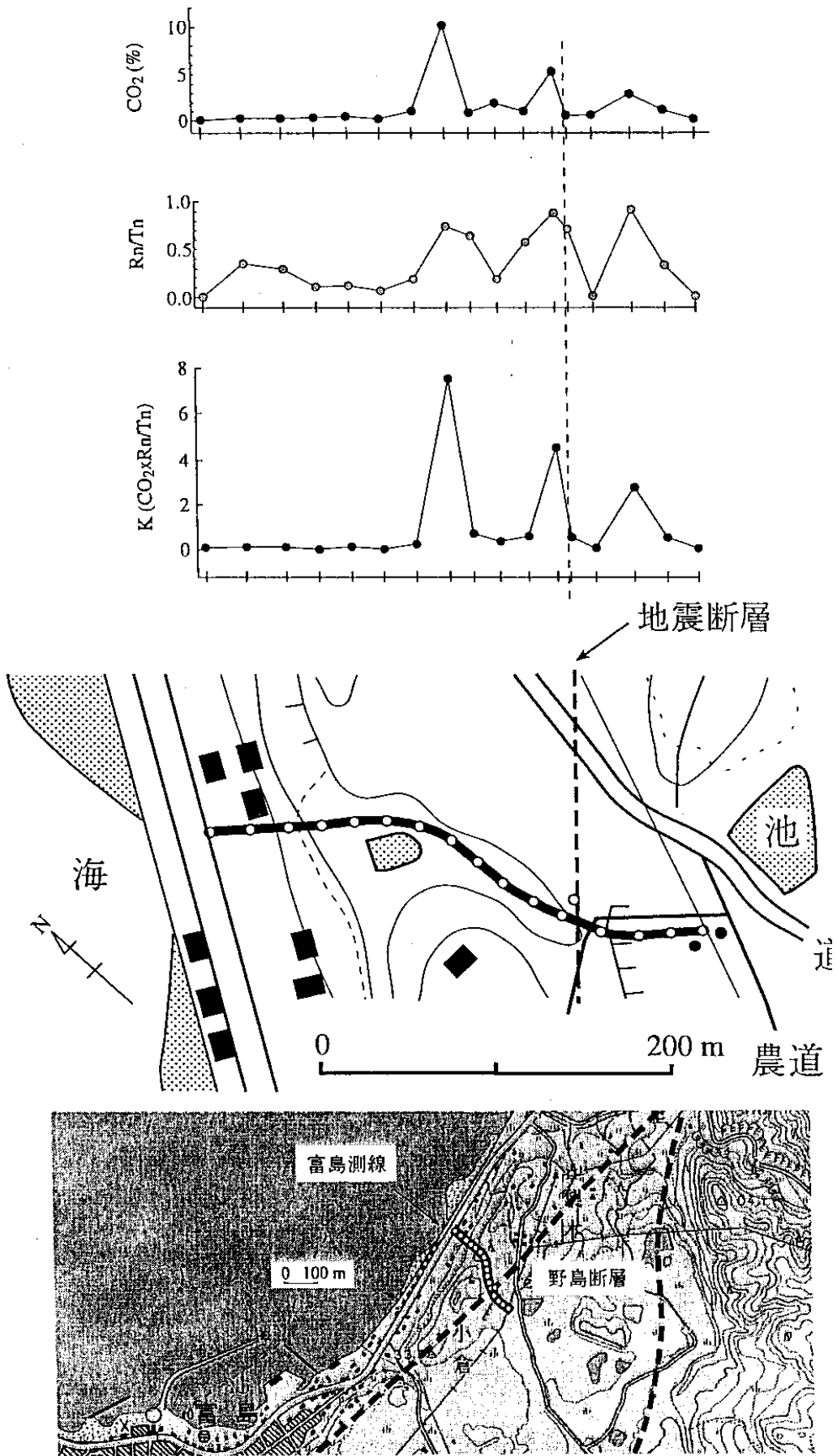
大都市地下や平野部に潜在する活断層を発見する手法としては、音波探査や地化学探査が行なわれている。このうちの地化学探査により、淡路島富島地区と芦屋川沿いで活断層位置を検証するための調査を1995年11月に実施した。この調査では、活断層上で高濃度を示すことが経験的に知られている地中の炭酸ガス濃度及びラドン／トロン比を測線上で20m～30m間隔で測定した。その際、ガス異常を検出する一つの指標としてK値（炭酸ガス濃度×ラドン／トロン比）を用いた。

淡路島の富島測線（第1図）では、野島断層（地震断層）周辺で計3箇所のK値異常が見い出された。また、芦屋川測線では、既知の芦屋断層直上とJR神戸線の100m北側（第2図のI）及び阪急電鉄線の100m～400m北側（第2図のII）に、それぞれ顕著なK値異常が認められた。I、IIの2地点は、精密重力観測により求められた推定断層位置¹⁾（第2図にGと表記）と一致している。これら2地点は芦屋断層東側に存在する甲陽断層に関連する可能性がある。なお、富島測線のK値異常は芦屋川測線におけるK値の10倍に達するが、このK値異常の大きさが断層の活動度あるいは断層が実際に動いたかどうかなどに関係しているのか、現段階では不明である。

（風早康平・安原正也）

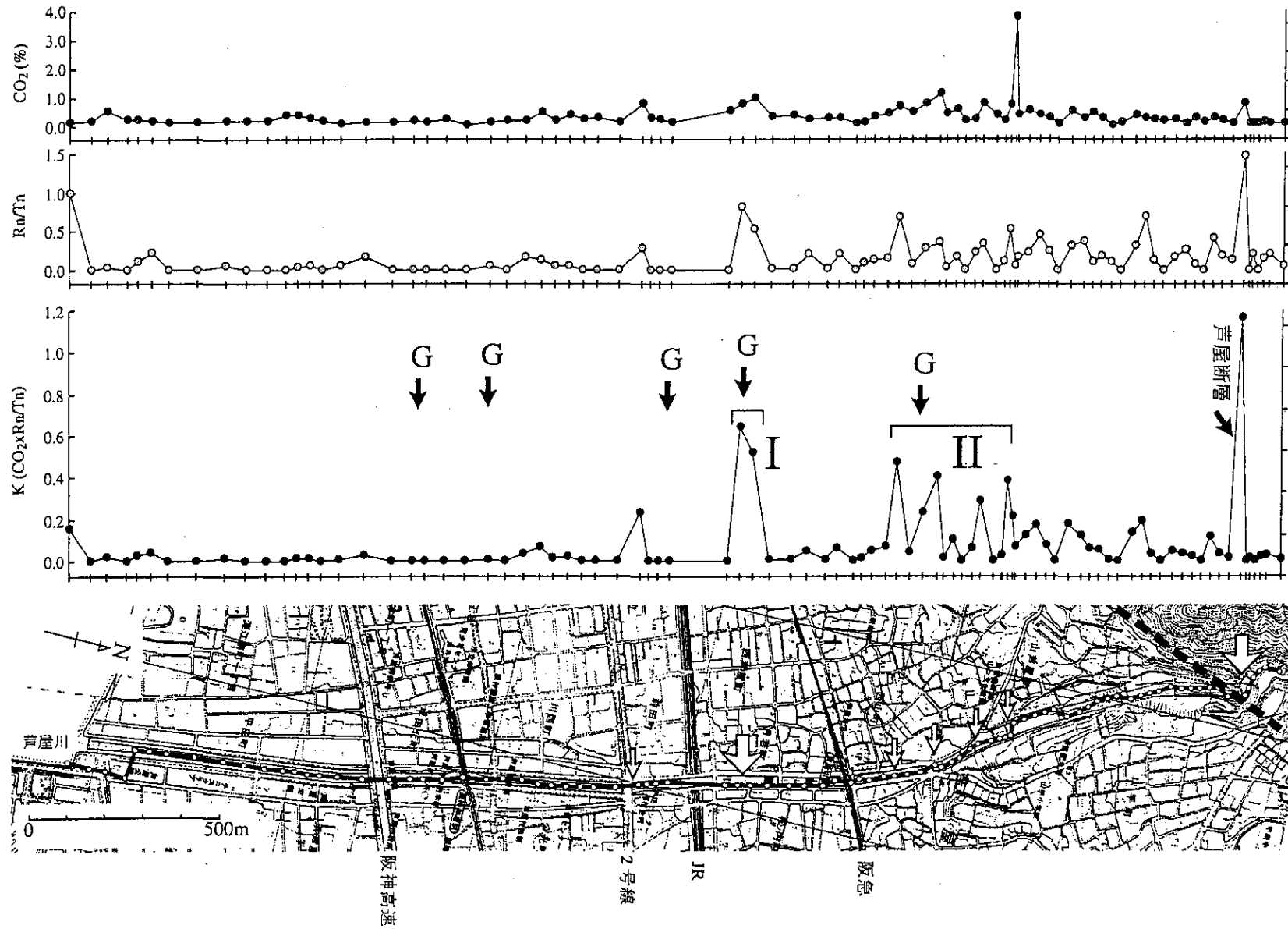
参 考 文 献

- 1) 遠藤秀典・渡辺史郎・牧野雅彦・村田泰章・渡辺和明・卜部厚季：阪神側地域の地下地質構造、被害分布及び地震後の変動について、1995年度構造地質研究会夏の例会講演要旨集（1995）、13-22.



第1図 富島測線における地化学探査結果

Fig.1 Geochemical investigation result of Toshima survey line.



第2図 芦屋川測線における地化学探査結果

Fig.2 Geochemical investigation result of Ashiyagawa survey line.